

NEWS RELEASE

報道関係各位

2021年9月8日

ネットワーク管理者に嬉しい。
 スイッチ製品、ルーター製品のバージョンアップで
 ニューノーマル時代に適したネットワーク構築を。

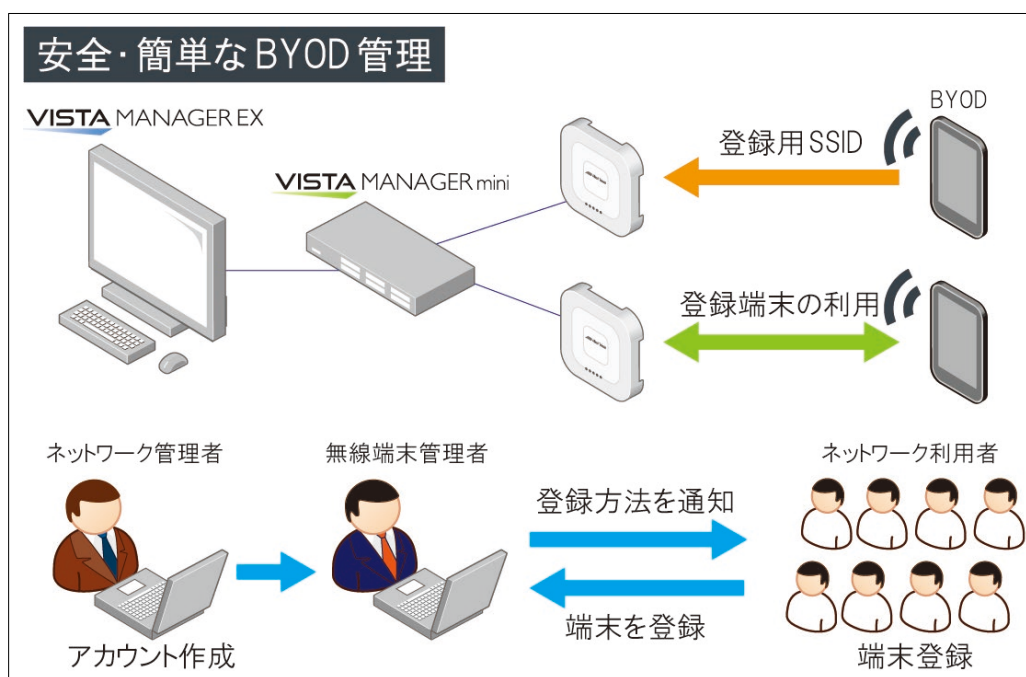
アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、スイッチ製品やルーター製品、またネットワーク統合管理ソフトウェア「AT-Vista Manager EX」などをバージョンアップし、当社ウェブサイトからのダウンロードサービスを開始いたしました。



●**簡単・安全に個人所有端末の業務利用登録を実現。BYOD 管理機能「無線資産アドバンスド・コントロール (AWC-SDF)」を提供** (AT-Vista Manager EX ソフトウェア Ver. 3.7.0)

○対象製品：AW+ Ver. 5.5.1-1.x、TQ5000シリーズ Ver. 6.0.1-6.2、TQ1000シリーズ Ver. 6.0.1-7.1

無線資産アドバンスド・コントロール (AWC-SDF) により、BYOD の管理/運用が可能です。まず、AT-Vista Manager EX の管理者が、無線端末の管理者を割り当てます。その後、無線端末の管理者は、ネットワーク利用者が入力する任意の情報と端末の MAC アドレスを紐づけることで、BYOD の管理をします。さらに、登録した情報や端末の接続状況は、GUI 画面上で簡単に確認することができます。

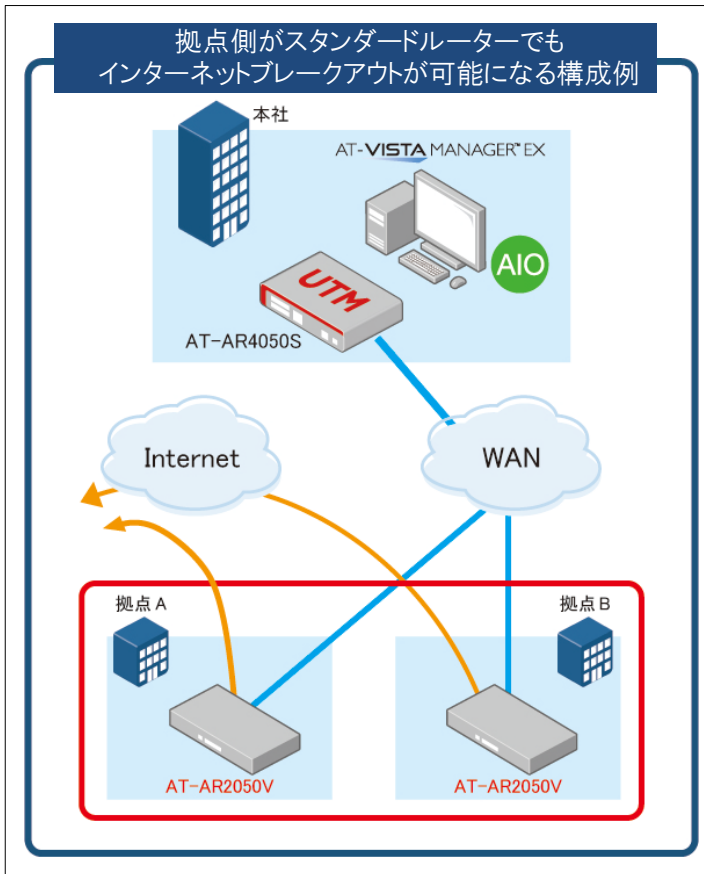


例えば学校の場合、生徒は指定画面から簡単な登録を行うだけで、管理者はBYODのMACアドレスと名前やクラスなど任意の情報を紐づけて収集/管理することができます。登録した端末がしっかり繋がる、セキュアなネットワークをご使用いただけます。

●AR ルーター間での DPI (ディープパケットインスペクション) 共有機能の追加で、スタンダードモデルのルーターでもインターネットブレイクアウトが利用可能に (AT-Vista Manager EX ソフトウェア Ver. 3.7.0)

○対象製品 : DPI 共有元 (サーバー) …AT-AR4050S、AT-AR3050S (AlliedWare Plus Ver. 5.5.1-1.1)

DPI 共有先 (クライアント) …AT-AR2050V、AT-AR2010V (AlliedWare Plus Ver. 5.5.1-1.1)

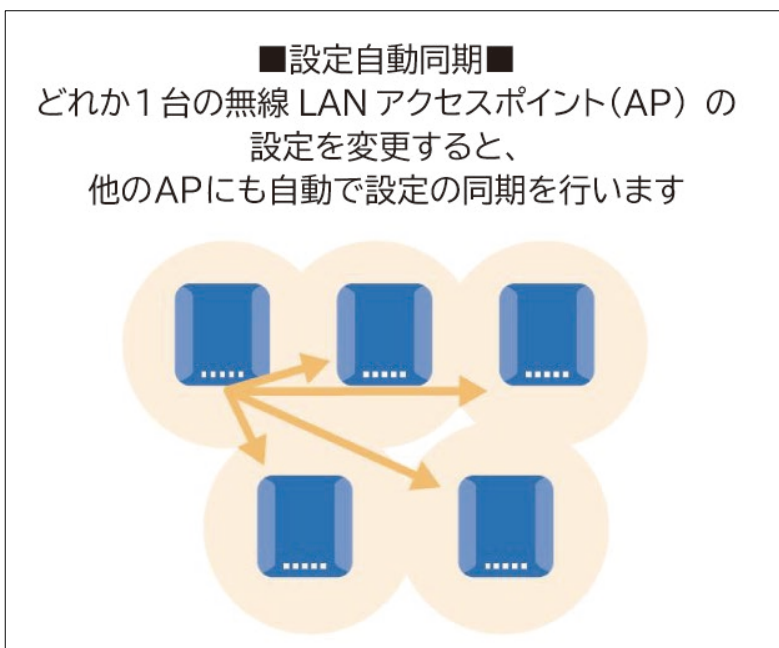


従来型ファイアウォールのようなIPアドレスやポート番号だけでなく、パケットのデータ部を監視することで特定のアプリケーションによる通信をコントロール可能となる「DPI (ディープパケットインスペクション)」機能。現状は当社製ルーターAT-AR3050SとAT-AR4050Sでのみ、DPIによる判定がサポートされています。今回のAIO (Allied Telesis Intent Based Orchestrator)機能^{*}の拡張で、AT-AR3050SやAT-AR4050Sで判定されたDPIの結果を、DPI未対応のスタンダードモデルAT-AR2050VやAT-AR2010Vでも共有できるようになりました。これにより、AT-AR2050VやAT-AR2010Vでもインターネットブレイクアウトが利用可能となり、センター・拠点共に快適な通信環境を実現できます。

※管理者の意図に基づきネットワーク管理の自動化・省力化を実現する独自のソリューション

●コントローラー不要で複数台の無線 LAN アクセスポイントの設定が同期可能に。途切れない無線 LAN 環境を構築 (TQ シリーズ用ファームウェア Ver. 6.0.1-7.1)

○対象製品 : AT-TQ1402



AWC-SCL (スマートクラスター) は、無線 LAN コントローラーを使用せず、最大5台の無線 LAN アクセスポイント間で情報を同期させ、同一チャンネルで提供される無線 LAN サービスエリアを構築する機能です。今回の拡張により、電源を入れるだけで周囲の無線 LAN アクセスポイントを自動で検出し、自律的に設定を同期してシングルチャンネルモードで無線 LAN を構築します。設定を同期している無線 LAN アクセスポイントのうち、どれか一つの設定を変更するだけで、その他の無線 LAN アクセスポイントも同時に設定変更が同期されます。専任のネットワーク管理者がいらないような場合でも、簡単にローミングレスの無線 LAN 環境を構築することが可能となります。

※AWC との併用は未サポートです

●AlliedWare Plus Ver. 5.5.1-1.1 で提供

- ・ダウンロードの Virtual Chassis Stacking (VCS) 構成が可能に
 - 対象製品：x530 シリーズ、x530L シリーズ、GS980MX シリーズ
- ・Web認証におけるサブリカントの監視方法として新たにARPを追加
 - 対象製品：Web 認証をサポートする AlliedWare Plus 搭載の全スイッチ
- ・ハードウェアアクセスリストのメモリ消費量改善
 - 対象製品：SBx8100 シリーズ、x320 シリーズ、GS980EM シリーズ、AT-x230-52GT/52GP、x220 シリーズ、GS980M シリーズ、FS980M シリーズ
- ・Web GUI/Vista Manager mini の機能拡張により、Passpoint Release2 の設定が可能に
 - 対象製品：Vista Manager mini 対応機種

●AT-Vista Manager EX ソフトウェア Ver. 3.7.0 で提供

- ・SNMP プラグインへMIB ノードツリーの追加
- ・AWC-CB環境における無線チャンネルの提案
- ・ヒートマップの3D表示

●AT-VST-APL シリーズ/AT-VST-VRT ソフトウェア Ver. 3.3.1 で提供

- ・AMF-SEC のコントローラー機能を提供可能 (AT-VST-VRT)
 - 対象製品：AT-VST-VRT
 - ※その他AT-VST-APLシリーズ/AT-VST-VRTの機能拡張については、AT-Vista Manager EX Ver. 3.7.0と同様です (AWC-SDFとMIBブラウザ機能を除く)。

その他のAlliedWare Plus Ver. 5.5.1-1.1、AT-Vista Manager EX ソフトウェアVer. 3.7.0、AT-Vista Manager EX 仮想マシンソフトウェア Ver. 3.3.1、AT-VST-APLシリーズソフトウェア Ver. 3.3.1、TQシリーズ用ファームウェア Ver. 6.0.1-7.1で追加・拡張した機能および詳細については、リリースノートをご覧ください。

<https://www.allied-telesis.co.jp/support>

注)記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です

<<製品に関するお問い合わせ>>
E-Mail: info@allied-telesis.co.jp
<https://www.allied-telesis.co.jp>

アライドテレシス株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>
マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル